

令和3年度
事業計画書

公益財団法人 帆船日本丸記念財団

目 次

1	事業運営の方針	2
2	帆船日本丸事業	3
3	横浜みなと博物館事業	4
4	みなとの賑わい創出事業	6
5	緑地管理及び研修施設事業	7
6	集客増に向けた重点取組	8
7	組織運営の質的向上に向けた取組	10
8	事業一覧表	11

令和3年度 事業計画

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、第3期指定管理期間（平成28年度～令和2年度）を1年間延長することが横浜市会で議決されました。これを受けて基本協定書の一部変更（期間延長）を締結し、前年度同様の指定管理業務を実施していきます。現在、パートナーである株式会社JTBコミュニケーションデザイン（以下「JCD」という。）と共同事業体を構成して事業を進めており、今年度もJCDと協働して、施設の新たな魅力向上や集客向上に向けた施策を横浜市と協議しながら積極的に推進します。また、今年度に予定されている次期指定管理の手続きについても、今までに培った経験を基に、令和4年度からの次期指定管理が受けられるよう取り組んでまいります。

帆船日本丸は、長期にわたる船員教育や我が国の海運業の発展に貢献したこと及び日本国内に現存する希少な「リベット構造」を持ち、国内開発された船用大型ディーゼルエンジンを搭載するなど貴重な海事遺産であることが評価され、平成29年9月15日には国の重要文化財に指定されました。昨年、10月21日には、市民と共に育む海事思想の普及に貢献したことから、第13回海洋立国推進功労者内閣総理大臣表彰を受賞しました。引き続き、横浜市と協力して文化財の価値を保全しつつ、総帆展帆等や海洋教室など帆船日本丸を活用した事業を積極的に推進します。

また、帆船日本丸は船齢91年を迎え船体の劣化が進んでいます。このため、来る100年の航海に向けて、今年度はメインマストロイヤルヤードの修繕を含めた工事を行います。さらに、平成31年3月に作成された重要文化財「帆船日本丸保存活用計画」（以下「保存活用計画」という。）に基づき、横浜市と協力し、保存・活用してまいります。

横浜みなと博物館では、常設展示の魅力アップを図るため、横浜市によるリニューアル工事が実施されます。当財団は、これまで培ってきた博物館の管理運営の経験や知識を活かして、設計や工事が円滑に進むよう最善の提案をいたします。開館期間中には、企画展「日本の練習船～海の上の学校」を継続実施するほか、当館の所蔵品による特徴ある企画展を開催します。柳原良平アートミュージアムでは、特集展示「帆船日本丸」を継続実施するほか、特集展示「花と木と船と（仮）」を実施するとともに、企業や団体と連携した効率の良いPRや事業展開をするなど、集客アップに向けた取組を進めます。

また、自宅でも楽しく学んでいただけるよう、横浜みなと博物館の展示内容や教育活動の情報を発信するため、Webコンテンツの一層の充実を図ります。

日本丸メモリアルパークでは、アリーナでのイベントをはじめ、横浜市や企業、団体、NPO等と連携したイベントなどを開催するとともに誘致を進めます。

以上、みなとみらい21地区という賑わいエリアの特性を踏まえ、多様な主体と連携し、引き続き帆船日本丸と横浜みなと博物館、日本丸メモリアルパークの一体的な運営管理を行い、賑わいづくりに取り組むとともに、今年度も新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底し、多くの皆様に安心して御来館いただけるよう取り組んでまいります。

なお、今年度に予定されている横浜市による横浜みなと博物館のリニューアル工事によっては、本事業計画が大きく変更になる場合があります。

1 事業運営の方針

(1) 年次計画の目標

目標は、帆船日本丸及び横浜みなと博物館の有料入場数 1.9 万人、日本丸メモリアルパーク利用者数 26 万人、来校数 34 校とします。

また、お客様満足度97%以上を目指します。

(2) 利用者の拡大と一層のサービスの向上

お客様に気持ち良く利用していただくために、おもてなしの心で常に改善を行い、サービスの向上に取り組みます。利用者ニーズを的確に把握した取組を展開するとともに、引き続き来場者の増加が期待される、団体と訪日外国人に向けたキャンペーンやサービス向上策を講じます。

施設運営の大きな特徴である大勢のボランティアとの協力体制を引き続き充実させます。

また、JTBグループのノウハウを活用し、施設の魅力向上に向けたデータ収集や分析を行い、新たなプロモーション施策とサービスを提供します。

(3) 安全・安心して利用できる施設管理

常時パーク内を巡回し、子供や高齢者、障がい者にも安心して利用していただけるよう施設管理を行います。特に、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策は、職員の健康確認や施設の除菌清掃、お客様及び職員の手指消毒の励行を図りながら運営していきます。

また、地震や津波、風水害等の発生時には、お客様の安全を第一にした避難誘導を行うなど必要な措置を迅速に講じます。訓練センターは、災害時における帰宅困難者一時滞在施設としての役割も果たしていきます。

(4) 料金体系の見直し

利用実績やイベント実施、繁忙日等を考慮しながら、適宜キャンペーン料金を設定するなど柔軟な料金体系を設定します。お客様のニーズに応え、帆船日本丸・横浜みなと博物館のどちらか1つの施設を見学できる単館券の発行を継続します。また、高校生料金は小中学生と同じ料金帯の設定で継続します。

小・中・高校生料金は、引き続き毎週土曜日を100円の特別料金で実施します。

2 帆船日本丸事業

帆船日本丸の帆走艀装については、平成30年度から2か年に亘って横浜市が実施した大規模修繕工事で、フォア及びミズンマストのロイヤルヤードを交換しました。さらに昨年度、特に腐食が激しく見られたフォア及びメインマストのローアゲルンヤードを交換しました。しかし、各マストの木製アップアゲルンヤードなどは、戦後の帆装復旧から現在まで更新されていません。今後も、帆船日本丸がこれまでどおり総帆展帆などの事業を実施し続けるためには、要修繕・整備箇所がまだまだ多く見られます。そこで、帆船の船員経験のある職員が日々の船体整備に努めるとともに、今年度も引き続き保存活用計画に基づき、保存において行うべき工事や修繕の方法について検討し、実施していきます。

また帆船日本丸は、海洋教室等を通じて、海・船・港に関する知識を学ぶための教育施設でもあることから、子供から大人までが楽しめる参加・体験型教育プログラムを実施し、帆船日本丸の保存について、より深い理解をしていただけるよう努めます。

加えて、帆船日本丸をより多くの方に御覧いただくため、定期的な船内展示の更新、各種講座等を実施し、乗船者増に努めます。さらに、帆船日本丸を観光資源として活用する方策について検討を進めていきます。

(1) 保存事業

帆船日本丸を良好な状態で保存するために次の整備を行います。

ア 日常保守点検

公開区域を始めとした船内の安全点検、清掃、真鍮磨きなど、美観保持等の整備に努めます。保存活用計画に基づいて、船体鋼材の発錆部整備、木甲板や船体木部の整備及びマスト、ヤード、その他の帆走艀装の点検・整備並びにセイルの新規作成を行います。

イ 年次船体整備等

船舶検査受検工事に加え、メインマストロイヤルヤード交換工事、船体構造部材、帆走艀装品及び木甲板等の船体木部に関する要修繕箇所を抽出し、小破修繕工事を行います。



メインロイヤルヤード

ウ 災害防止

船内防災センターにおいて、火災や地震等の災害対策及び不法侵入者の防止に備えた24時間体制の監視を行います。

(2) 公開事業

業務仕様書に基づき、船内を年間250日以上一般公開します。船内展示室の展示内容を定期的に更新します。ロープ作成教室や各種講座を実施し、帆船日本丸のさらなる魅力アップに努めるとともに、リピーター及び新たな乗船者の増加を図ります。

現役時代の帆船日本丸への乗船経験や海上勤務経験があるガイドボランティアと連携し、無料の船内ガイドサービスを毎日実施し、乗船者に船内見学をより楽しんでいただき、満足度向上に努めます。

今年度、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、作業時に密を避けるため、総帆展帆だけではなく、適宜、帆の一部を広げる展帆を実施します。これらを始め、祝日の満船飾や、毎夜ライトアップとイルミネーションの点灯を実施することにより、この地区を訪れる方々に、帆船日本丸の美しい姿を御覧いただき、みなとみらい21地区の賑わい創出に努めます。

(3) 青少年錬成事業等

帆船日本丸及び付属施設を活用して、青少年錬成のための「海洋教室」、海洋教育としての「船の講座」、夏季の「ロープミニ海洋教室」を開催し、海事思想の普及に努めます。



ロープミニ海洋教室

(4) その他

帆船日本丸の重要文化財指定に伴い、保存活用計画の運用を確実に実施するとともに、その検証を行います。また、附等の関連資料整理・保管方法について、横浜市と協議します。そして、帆船日本丸を観光資源として活用する方策について検討します。

3 横浜みなと博物館事業

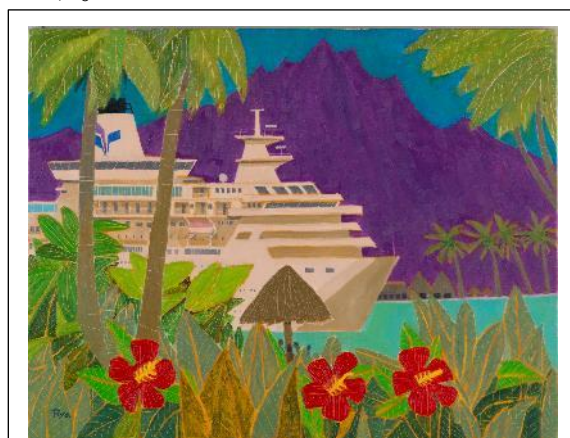
横浜みなと博物館では、一層充実した常設展示、最新の横浜港の情勢や取組を市民に提供し、お客様が利用しやすい施設へと改善するため、今年度に横浜市が実施するリニューアル作業に協力します。開館期間中には日本の練習船をテーマにした企画展を継続実施します。また、子供から大人までを対象とした教育事業や、博物館の展示内容及び教育普及事業をWebで利用できるコンテンツの製作を行います。さらに、「柳原良平アートミュージアム」を活用した事業等を展開し、市民が横浜港をはじめ、海・船・港に親しむ多彩な機会を提供します。各事業についてSNS等を活用した広報活動を行い、当館の魅力を発信し、これまで以上に市民に親しまれ、活用される博物館づくりと新しいファンの獲得を目指します。

また、多くの市民ボランティアとともに、展示や教育普及、アウトリーチ活動を通して、多くの方が海や港、船に親しみ、興味をもつことができるように、体験的な教育プログラムを実施し、お客様サービスに努めます。また、近年多発する自然災害への対応を進めてまいります。

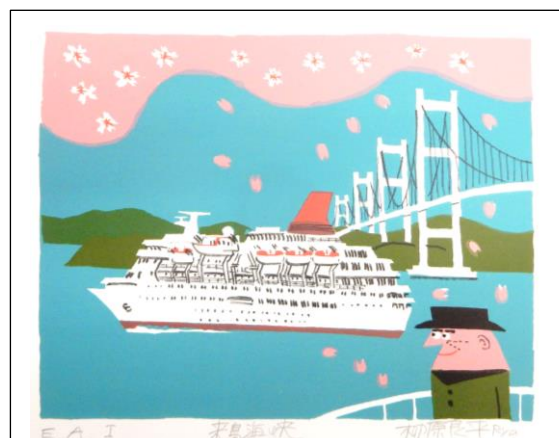
(1) 常設展示事業

常設展示をより楽しんでいただくために、市民の展示案内ボランティアによる展示の案内、説明を毎日実施し、入館者の満足度向上とリピーターの確保に努めます。

柳原良平アートミュージアムは、今年度オープン3周年を迎えます。特集展示では、心和む花や樹木を題材とした、柳原作品の特長の一つでもある明るく楽しい作品を展示します。御来館のお客様にほっと安らぐ時間を過ごしていただけるよう努めてまいります。



「南洋」
2001(平成13)年 油彩
特集展示「花と木と船と」(仮称)



「来島海峡」
2006(平成18)年 リトグラフ
特集展示「花と木と船と」(仮称)

柳原良平アートミュージアム特集展示名	会 期
海洋立国推進功労者内閣総理大臣表彰受賞記念・帆船日本丸進水91周年記念特集展示「帆船日本丸」(継続)	令和2年12月22日～5月9日 ※会期終了を3月21日から延長
柳原良平アートミュージアムオープン3周年記念特集展示「花と木と船と」(仮称)	令和3年度夏を予定

(2) 特別展示事業

今年度は5月上旬まで、企画展「日本の練習船～海の上の学校」を継続して開催します。日本全国で活動する多彩な練習船とそこで行われている実習訓練(実技や座学)について紹介します。帆船日本丸をはじめとした練習船の役割や構造、練習船での教育プログラム等について展示し、日本で行われている海事人材育成について市民の皆様に関心をもつていただくきっかけとします。夏には、港と船の所蔵品展(仮称)を開催し、近年収集した横浜港、海、船に関する資料を展示します。

企画展名	会期
海洋立国推進功労者内閣総理大臣表彰受賞記念・帆船日本丸進水91周年記念企画展「日本の練習船～海の上の学校」(継続)	令和3年2月27日～5月9日
港と船の所蔵品展(仮称)	令和3年度夏を予定

(3) 教育普及事業

入館者向けに、週末の土・日曜日には、リピーター増加のための事業を教育活動ボランティアの協力により行います。具体的には、土曜日には子供向けクイズラリーと船の折り紙教室を、日曜日にはファミリー向けとして好評なペーパークラフト教室、国民の休日にもペーパークラフト教室と折り紙教室を行います。大人向けのクイズラリーも6月に実施します。また東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に合わせ、観光施設と連携して「港と船のスタンプラリー」(仮称)を実施します。

自宅にいながら、横浜港や帆船日本丸などの船に親しむことができるよう、昨年7月末に公開した「おうちで船の工作」の公開を継続するほか、「Webで日本丸ぬり絵(仮)」、「Web版フィールドへ行こう！(仮)」等新たなWebコンテンツの拡充を図ります。

4 みなとの賑わい創出事業

(1) 水辺の事業

ア シーカヤック体験教室

日本丸メモリアルパークの内水域及び汽船道側水域において、NPO法人横浜シーフレンズと連携し、熟練した指導者のもとシーカヤック教室を開催します。今年度は、初心者向けの「半日スクール&赤レンガミニツアーリング」を年間98回、例年好評をいただいている「親子体験教室」16回をゴールデンウィークと夏休みに集中して開催します。

また、市内の大学との連携教室等を開催します。



シーカヤック教室

イ カヌーポロ教室



カヌーポロ教室

NPO法人横浜カヌー倶楽部・横浜市カヌー協会と連携し、4月から10月までカヌーポロ教室を子供向けと大人向けに分けて開催し、青少年育成と競技の普及を進めます。

ウ 帆船日本丸のライトアップとイルミネーション等

帆船日本丸では、毎夜ライトアップとイルミネーションの点灯を実施することにより、みなとみらい21地区の賑わい創出に努めます。また、警察署や消防署が定期的実施している水難訓練にも協力して行きます。

(2) パーク利用事業（イベント）

昨年度に引き続き、ワークショップやコンサートなど多彩なイベントへの貸出を積極的に進めます。大型イベントでは主催者が使いやすいように、アリーナ・訓練センター・タワー棟の一体的貸出や、トレーラーなど大型車両の駐車スペースの提供を行い、一層の集客及び収入増を目指します。



アリーナでのイベント風景

また、東京2020オリンピック・パラリンピックのプレイベント等に積極的に協力して行きます。

自主事業では、市民交流・リサイクル事業の推進として、フリーマーケットを定期的開催する予定です。また、横浜市のプロモーション事業やみなとみらい21地区のイベントとの連携を図ります。

(3) ミュージアム・ショップ事業

帆船日本丸、横浜みなと博物館、柳原良平アートミュージアム及び横浜にちなむ商品を取り揃え、来場者の思い出となる販売を目指して、引き続き、横浜みなと博物館内にショップを開設します。お客様ニーズの把握、分析や売上向上を検討するため、職員プロジェクトチームによるショップ検討委員会を継続運営していきます。



5 緑地管理及び研修施設事業

(1) 緑地の維持管理・活用

ア 安全管理・美化

市民をはじめ来街者が安心して利用できる緑地として、パーク内の巡回・警備、施設の点検を日々実施します。また、樹木の剪定、芝生の刈込等を適宜行うとともに、パーク内の水域では浮遊物の除去を毎日実施します。

一方、プランターやボックス花壇には、年間を通して季節の花を絶やすことなく植替えを行い、緑地としてふさわしい美観を維持していきます。

イ 撮影

テレビドラマやCM等の撮影については、引き続き深夜・早朝の撮影許可や会議室の貸出など、柔軟に対応することで、リピーター及び新規の利用促進を図ります。

また、美しい内水域の夜景写真などを使いWebサイトやSNSによる情報発信を行い、撮影候補地としてのPRを積極的に行います。

昼夜を通して多くの撮影が行われる人気スポット



(2) 研修施設（訓練センター）の管理運営

駅からのアクセスも良く、リーズナブルで使いやすいという利点を活かし、利用促進に向けた業務展開を行います。また、予約開始時期6か月前から行えるサービスを継続するとともに、今年2月からWebサイトによる予約受付の本格的運用を開始し、利用者へのサービス向上と事務の効率化を図ります。加えて、日頃からお客様のニーズを把握し、設備機器類の更新を計画的に実施し、より快適な利用環境を提供することで、リピーターや新規顧客を増やし、利用者及び収入増に繋がります。

6 集客増に向けた主な重点取組

(1) マーケット別取組の強化

教育旅行・法人・外国人などのマーケット別取組を強化することにより、それぞれのマーケットからの需要創出・集客増を目指すとともに、日本丸メモリアルパークブランドの普及に努めます。

そのため、JCDとの更なる連携強化及びJTBグループが持つネットワークやリソースを活かし、実効性のあるマーケティングを実施し、各マーケットに合致するタイムリーで有益かつ有用なプロモーション施策を継続実施します。

また、プログラム・コンテンツのブラッシュアップ・新規開発を行うとともに、当施設単体だけでなく、近隣諸施設や諸機関との連携強化、誘致施策の協業を図ります。

さらに、新規プロモーション施策を実施するとともに、最適な情報発信の強化やタイムリーな展開を図ります。

併せて、引き続きお客様の声（アンケート）による来場者データの収集・分析を迅速に行い、貴重なお客様の声へ応えるため、具体的な施策展開に活かしていきます。

ア 法人マーケット（教育旅行及び企業・団体等法人）への取組—団体需要創出

団体利用の主たるマーケットである教育旅行及び企業・団体等法人のお客様ニーズを的確にとらえ、深耕拡大に向けた取組の継続強化及び新規取組を実施し、各マーケットからの需要創出を図り、集客増・売上増につなげていきます。

イ 教育旅行マーケット

公益財団法人日本修学旅行協会及び公益財団法人横浜観光コンベンションビ

ユーロー等の関係機関との連携を強化し、お客様ニーズを含めたマーケット情報の収集、誘致施策の協業を図ります。

また、旅行会社等への団体利用誘致に向けた最適な情報発信、営業連携、プロモーションの充実等各種取組を推進します。

(イ) 企業・団体等法人マーケット

活動の目的に合わせたプログラム・コンテンツのブラッシュアップ・新規開発を行い、旅行会社等との連携による商品化及び販売展開の推進を図ります。

また、様々な企業・団体からの団体誘致のためのプロモーション施策の継続実施及び新たな施策の検討を図るとともに、需要創出に向けた深耕拡大・新規開拓のための営業展開を図ります。



学生団体による見学

併せて、収入拡大のため、各事業において企業・団体等との協業による持続可能な新たな事業の構築を検討します。

イ 個人マーケットへの取組－個人・グループ需要創出

利用者及び集客増のベースとなる個人需要拡大に向けた実効性のあるマーケティングにより、お客様ニーズを的確にとらえ、各マーケットに最適な情報発信、既存販売チャネルの深耕拡大・マーケットの変化に対応した新規販売チャネル開拓、



Webチケットのバナー

プロモーション施策を推進し、集客増及び売上増につなげていきます。

また、新たな個人・グループの需要創出のため、新規マーケットへの取組を図ります。

ウ 外国人客（訪日・在日外国人客）マーケット－個人・グループ需要創出

新型コロナウイルス感染症の収束状況にもよりますが、東京2020オリンピック・パラリンピック開催時には開催形態によっては増加が見込まれます。



「QR Translator カード」による多言語対応

外国人客集客の復活に向け、訪日外国人誘客のみならず在日外国人客も含め、施設内等の案内表示及び情報ツールの多言語化対応の充実を図ります。

また、販売チャネル特性、国・地域特性に応じたタイムリーなプロモーション施策の継続実施及び新たな施策を検討します。併せて、近隣諸施設・諸機関との連携を強化し、インバウンド旅行会社等の情報収集及び営業展開を図ります。

(2) 広報・宣伝への取組—プロモーションを主体とした取組

「日本丸メモリアルパーク」ブランドの周知向上のため、従来の広報宣伝やプロモーション手法にとらわれず、マーケット変化に適応した取組を実施し、お客様の有益性・有用性を追求した情報発信を目指すとともに、更なる情報発信の効率化・スピード化・グローバル化への取組強化を図ります。

(3) 入館料金の柔軟な対応

単館券の販売動向を見つつ、春休みや夏休み等に家族やグループで気軽に、かつ、お手ごろな料金で来館していただけるような料金設定を検討し、実施します。引き続き、大人の料金帯であった高校生の料金を小・中・高校生料金として維持し、修学旅行や東京都、神奈川県を中心とした高校生の来館者を増やしていきます。

(4) 連携イベントによる賑わいの創出

新型コロナウイルス感染症拡大により、連携可能なイベントの開催が未定のため今後の状況を見ながら検討してまいります。

(5) Webサイトの活用

多様なマーケットニーズを的確にとらえ、Webサイトの活用及びサイト連動のSNSの活用をさらに推進し、情報発信の充実化・効率化・スピード化・グローバル化への取組強化を図るとともに、更なる認知度向上と利用者増を目指します。

併せて、IT環境の変化に対応し、紙媒体に代わる情報提供やプロモーションツールとしてなお一層の活用促進を図り、お客様への有益性・有用性・利便性を追求した情報提供及びプロモーションを目指します。

7 組織運営の質的向上に向けた取組

一人ひとりの職員がいきいきと活躍できるよう、引き続き次の取組を進めます。

(1) 風通しの良い職場づくり

管理職会議、職員ミーティングや日常業務での議論を通し、職場でよく話し合う風通しの良い職場運営を行います。

(2) 研修の実施

「コンプライアンス」や「個人情報保護」、「防災・緊急時対応」、「接客対応」、「スキル研修」等の研修を実施し、職員の意識や能力の向上を図ります。

(3) コンプライアンスの順守

研修や朝礼等によりコンプライアンス意識の向上を図ります。また、市職員を含めたコンプライアンス委員会の開催等により、コンプライアンスの順守を徹底します。

8 事業一覧表

(1) 帆船日本丸事業	
帆船日本丸公開	次の日を除く毎日公開 月曜日（祝日にあたる時は公開、翌日が休館日）・年末年始・年次検査工事期間（*1月28日～2月26日）
展示案内	ガイドボランティアによる船内ガイドを実施 10～13時
総帆展帆 （実施予定回数 12回） *新型コロナウイルス感染症の状況によっては帆の一部展帆を実施	4月29日（木・祝）、5月5日（水・祝）、6月6日（日）、7月22日（木・祝）・23日（金・祝）、8月22日（日）、9月5日（日）、23日（木・祝）、10月10日（日）、24日（日）、11月3日（水・祝）、21日（日） （展帆ボランティアの協力により実施）
親子展帆 （実施予定回数 2回）	8月22日（日）、9月5日（日） （総帆展帆のお昼休みに親子での縦帆展帆体験を実施）
満船飾 （実施予定日数 17日）	4月29日（木・祝）、5月3日（月・祝）・4日（火・祝）・5日（水・祝）、6月2日（水・開港記念日）、7月22日（木・祝）・23日（金・祝）、8月11日（水）、9月15日（水・重要文化財指定記念日）・20日（月・祝）・23日（木・祝）、11月3日（水・祝）・23日（火・祝）、1月10日（月・祝）・27日（木・進水記念日）、2月23日（水・祝）、3月21日（月・祝）
海洋教室	半日・1日コース（募集予定人数 440人） 宿泊コース（募集予定人数 280人） 結索訓練、甲板磨き、登りょう訓練等を実施
教育普及事業	<p>【大人向け船の講座】</p> <p>11月7日（日）「トールシップの帆走艀装③」 木製ジガーゲルンマスト及びロイヤルヤードの更新作業について解説</p> <p>1月23日（日）「帆船日本丸の主機」 帆船日本丸の主機について解説、機関室での主機操作体験</p> <p>【子供向け船の講座】</p> <p>8月11日（水）「船はどうして進むのだろう？②」 船が進む原理を分かりやすく解説</p> <p>9月26日（日）「エンジンルーム体験ツアー」 帆船日本丸の主機操縦装置を動かしてみよう</p> <p>【ロープミニ海洋教室】</p> <p>7月31日（土）・8月1日（日）、8月6日（金）・7日（土） 船でロープを作成して、ロープワークを学ぶ</p> <p>【夏休み親子宿泊海洋教室（低学年）】</p> <p>8月14日（土）・15日（日）</p> <p>【夏休み1日海洋教室（高学年）】</p> <p>8月8日（日・祝）</p>

(2) 横浜みなと博物館事業 (リニューアル工事によっては、事業内容が変更になります。)	
常設展示事業	<p>次の日を除く毎日公開 月曜日 (祝日にあたる時は公開、翌日が休館日) 年末年始 収蔵庫・書庫燻蒸及び館内整備期間 (2月14日～2月25日) リニューアル作業への協力</p>
展示案内	展示案内ボランティアによる常設展示の説明
特別展示事業	<p>【企画展】 海洋立国推進功労者内閣総理大臣表彰受賞記念・帆船日本丸進水91周年記念企画展「日本の練習船～海の上の学校」(仮称) 会期：2月27日(土)～5月9日(日) (継続) 「港と船の所蔵品展」(仮称) 会期：令和3年度夏を予定</p> <p>【柳原良平アートミュージアム特集展示】 海洋立国推進功労者内閣総理大臣表彰受賞記念・帆船日本丸進水91周年記念特集展示「帆船日本丸」(継続) 会期：12月22日(火)～5月9日(日) ※会期終了を3月21日(日)から延長 柳原良平アートミュージアムオープン3周年記念特集展示「花と木と船と」(仮称) 会期：令和3年度夏を予定</p>
教育普及事業	<p>教育普及ボランティアの協力を得ながら次の事業を実施 土曜日の小・中学生向け事業 キッズのためのクイズラリー (小・中学生向け/年間) 楽しい船の折り紙教室 (こども向け/年間) サンデー・ペーパークラフト教室 (ファミリー向け/年間) 大人のためのクイズラリー (大人向け/6月) ホリデーペーパークラフト教室 (ファミリー向け/年間) ホリデー船の折り紙教室 (ファミリー向け/年間) 港と船のスタンプラリー (仮称) (7月3日(土)～9月5日(日)) Webで日本丸ぬり絵 (仮) (Webコンテンツ) Web版フィールドへ行こう! (仮) (Webコンテンツ) おうちで船の工作 (Webコンテンツ・継続)</p>
調査・研究・ 収集・出版活動 事業	<p>横浜港を中心とした資料調査・収集・研究及び出版 資料の調査、研究、収集、整理、保存を行い、その成果を公開 及び展示・教育活動に反映。資料のデータベース化を推進 出版活動 博物館ニュース・年間行事予定表、企画展に合わせた図録等を出版 資料貸出し・レファレンス 写真、画像有料貸し出しを継続実施</p>

ライブラリー事業	<p>横浜港を中心とした資料調査・収集・研究及び出版資料の調査、研究、収集、整理、保存を行い、その成果を公開及び展示・教育活動に反映。資料の公開・活用を推進</p> <p>柳原良平作品の整理公開及び帆船日本丸附資料の整理公開に向けた計画策定</p> <p>近年頻発する自然災害への対応及び予防への取組の実施</p> <p>出版活動</p> <p>博物館ニュース等を発行</p> <p>資料貸出し・レファレンス</p> <p>写真、画像有料貸し出しを継続実施し、利用しやすいシステムを検討</p>
その他	<p>小中学校の体験学習の受入れ</p> <p>館外での活動や外部団体と連携した事業の実施</p> <p>周辺区の教育事業や団体・企業の研修への出張講義など</p>
施設の貸出	<p>特別展示室やロビー等のスペースの貸出をすすめ、お客様の利用しやすい取り扱い方法や環境整備を検討</p>

(3) みなとの賑わい創出事業

水辺の事業 シーカヤック教室（4月～3月）	<p>【NPO法人横浜シーフレンズと連携した体験教室の開催】</p> <p>初級者向けコース</p> <p>「半日スクール&赤レンガミニツアーリング」（98回）</p> <p>「親子体験教室」（16回）</p> <p>大学シーカヤック開催協力（神奈川大、横浜市立大）</p>
カヌーポロ教室 （4月～10月）	<p>【NPO法人横浜カヌー倶楽部、横浜市カヌー協会と連携したカヌーポロ教室の開催】</p> <p>子供及び大人向け教室（計28回）</p> <p>第8回帆船日本丸カヌーポロ大会（兼関東ポロリーグ神奈川大会）開催（6月）</p>
帆船日本丸のライトアップとイルミネーション	<p>ライトアップとイルミネーションの実施（毎夜）</p>
パーク利用事業	<p>ワークショップやコンサートなど多彩なイベントへの貸出</p> <p>大規模イベントへアリーナ、訓練センター、タワー棟の一体的貸出</p> <p>東京2020オリンピック・パラリンピックのプレイベントへの協力</p> <p>フリーマーケットなど自主事業の定期的な開催を予定</p> <p>横浜市のプロモーション事業等との連携</p>
ミュージアム・ショップ事業	<p>施設開館日に開店し、思い出となる様々な商品を販売</p> <p>毎月ショップ検討委員会を開催</p>

(4) 緑地管理及び研修施設事業

<p>緑地の維持管理・活用</p>	<p>【安全管理・美化】 パーク内の巡回・警備（毎日） 定期的な樹木の剪定、芝生の刈込（適宜） パーク内一円の清掃作業（毎日） 1号ドックやシーカヤックパーク内水域の清掃（毎日） プランターやボックス花壇への花の植替え（4回/年程度） グリーンボランティアと協働作業（2回/月） みなとみらい21地区まちかど花壇への協賛 桜木町駅前美化清掃活動への参加（毎月）</p> <p>【撮影】 撮影時間や会議室の貸出など利用者ニーズに沿った柔軟な対応 パーク内がさらに撮影候補地として利用してもらうようWebサイトやSNSで情報発信。特に、芝生広場から海側へのロケーションの良さをPR</p>
<p>緑地の貸出</p>	<p>受付開始時期を6か月前から実施 午前のみ利用料金を継続</p>
<p>研修施設（訓練センター）の管理運営（貸会議室）</p>	<p>駅から近い、リーズナブル、使いやすいを活かした利用促進 6か月前からの予約受付サービスを継続 Webサイトによる予約受付の本格的運用 設備機器類の計画的な更新</p>

(5) 集客増に向けた重点取組

<p>マーケット別取組（通年） 団体需要創出</p>	<p>1 法人マーケット（B2B・B2B2C）への取組</p> <p>(1) 教育旅行マーケットへの取組</p> <p>ア （公財）日本修学旅行協会との連携強化による同マーケットへの認知度向上、誘客促進（見直しによる継続、新規）</p> <p>(ア) 同協会発行の学校・旅行会社・自治体等向け『月刊教育旅行』への修学旅行等教育旅行団体誘致のための掲載内容見直しによる誘客促進（毎月）</p> <p>(イ) 教育旅行マーケット（特に収入増につながる市外）深耕拡大のための同協会とのマーケティング会議の四半期に1回程度の開催実施（新規） （同協会からの施策実施支援・助言及び情報収集）</p> <p>イ （公財）横浜観光コンベンションビューロー教育旅行部門との連携（継続）（情報提供連携、営業連携）</p> <p>(2) 企業・団体等法人マーケットへの取組</p> <p>ア JT B団体用企画商品「JT Bならではの」への参画（継続）</p> <p>※「JT Bならではの」とは、JT Bのみで団体用に販売できるコンテンツ・プログラムを展開し、全国のJT B及びJT B提携販売店の法人営業担当者が販売。当施設では、帆船日本丸のプログラムを提供し、JT Bで近隣レストランでの昼食を組込んで団体向け専用商品として販売を展開</p> <p>イ カルチャー系企業とのタイアップ（新規） カルチャープログラム・コンテンツの共同開発及び会員販売を通じた集客への取組（令和3年度第3四半期以降を想定）</p>
---	--

	<p>ウ 旅行会社等(含むその他法人)向けプログラム・コンテンツ開発及び販売への取組(継続及び新規)</p> <p>(ア) 帆船日本丸・日本丸メモリアルパーク及び近隣施設を利用した企業等社員向け教育研修用プログラム(チームビルディングプログラム)の新規開発・販売に向けた旅行会社等へのアプローチ検討(新規)</p> <p>(イ) 旅行会社の募集型企画旅行商品(団体向け)へのコンテンツ提供による商品化への積極的な参画(継続)</p> <p>エ 収入拡大のための持続可能な事業構築に向けた企業・団体等との連携・協業への取組(新規)</p> <p>(パーク内緑地利用、水域利用、帆船日本丸・横浜みなと博物館利用、近隣施設連携)</p> <p>(3) MICEマーケットへの取組</p> <p>ア アフターコンベンション・ユニークベニュー等お客様ニーズに対応する施設・パーク利用の柔軟性への取組み及びプログラム開発(継続-再構築)</p> <p>イ プログラム販売に向けての取組(継続-再構築)</p> <p>(ア) 横浜市関係部局、パシフィコ横浜、横浜観光コンベンションビューローへの情報提供及び販売連携の検討</p> <p>(イ) 旅行会社・その他法人等への販売展開</p> <p>(ウ) Webによる告知強化</p>
<p>個人・グループ 需要創出</p>	<p>2 個人マーケット(B2C・B2B2C)への取組</p> <p>(1) オンライン販売チャネルへの取組</p> <p>前年度導入のチケットレス・キャッシュレス入館券(E-ticket)取扱い各社との連携強化による販売拡大(継続・深耕拡大)</p> <p>(2) オフライン(リアル)販売チャネルへの取組</p> <p>ア ぐるっとパス等利用提携販売(継続・深耕拡大)</p> <p>イ 近隣施設・ホテルの来場者・宿泊者等のパーク・入館誘客のための連携プログラム・コンテンツ造成検討及び販売トライアルの実施(新規)</p> <p>ウ 旅行会社の募集型企画旅行商品(個人・グループ向け)へのコンテンツ提供による商品化への積極的な参画(継続-深耕拡大)(旅行会社の販売チャネルを利用)</p> <p>3 外国人マーケット(B2B2C)への取組 (マーケットの季節波動に準拠)</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の状況、東京オリンピック・パラリンピック開催状況に左右される可能性大ではあるが、有料入館者数を拡大するマーケットと位置付ける。</p> <p>(1) オンライン販売チャネルへの取組(新規)</p> <p>チケットレス・キャッシュレス入館券(E-ticket)の導入検討</p> <p>(2) 誘客に向けたプロモーションの実施検討(新規)</p> <p>オンライン販売チャネルとの連動</p> <p>(3) 横浜観光コンベンションビューローとの連携による訪日インバウンド誘客に向けた情報収集と情報提供(継続)</p>

	<p>(4) クルーズ船利用客の誘客に向けた取組（継続復活） （一部日本人誘客含む）</p> <p>(5) 多言語化対応への取組（継続・拡大）</p> <p>4 新規マーケット（B2C・B2B2C）への取組（新規） （マーケットの季節波動に準拠） ファミリー、若年層、カップルを対象マーケットとした取組</p> <p>(1) 既存プログラムの検討・新規プログラム開発及び販売展開の検討</p> <p>(2) 各マーケットに合わせたチケットプランの検討 （E-ticket 販売を想定）</p> <p>(3) フォトスポットの設置などWeb・SNS発信コンテンツの充実化への取組</p>
広報宣伝・プロモーションへの取組（通年）	<p>1 メディアへの取組（継続-見直し） 新聞社、TV・ラジオ局等（無料媒体）への効果的情報発信及び掲載率UPためのコンテンツ提供</p> <p>2 WebサイトとSNSへの取組（継続-拡大・一部新規）</p> <p>(1) WebサイトとSNSによる情報発信の拡充</p> <p>(2) 多様なマーケットに合わせた効果的な掲載コンテンツの製作</p> <p>(3) 他の業種・業態の企業・団体等とのタイアップによる誘客推進</p> <p>(4) 誘客・販売ツール機能構築による誘客・販売促進</p> <p>(5) シーカヤック・撮影・緑地利用の事業領域拡大に向けた効果的な掲載コンテンツの製作</p> <p>(6) 掲載コンテンツ枯渇回避・充実化のための他課との連携</p> <p>(7) 取組強化に向けた体制作りの検討</p> <p>3 ガイドブック・専門誌及び地域誌への取組（継続-見直し） 「るるぶ」「まっぷる」を始めとする旅行雑誌等（無料媒体）への効果的な情報提供の実施</p> <p>4 地域関係機関・近隣施設との連携による広報宣伝・プロモーションの実施（継続-見直し）</p>

(6) 組織運営の質的向上に向けた取組	
風通しの良い職場づくり	管理職業務調整会議及び職員ミーティングを毎週木曜日に開催
研修の実施	職員及び臨時職員向けに研修を実施 防災訓練 9月～10月、文化財防火デー訓練 1月、みなとみらい21地区合同防災訓練を2月～3月に実施 コンプライアンス、個人情報保護等の全職員研修を2月～3月に実施
コンプライアンスの順守	研修や朝礼等により意識の向上を図るとともに、コンプライアンス委員会を1月頃開催